

外国人従業員向け日本語教室 「今すぐ使える！しごとの日本語教室」

主催：(公財)横浜市国際交流協会

企業等に就業する外国人の増加に伴い、仕事に役立つ日本語学習を希望する外国人が増加しています。そこで、横浜市にある企業で働く外国人従業員を対象として、職場や生活に必要な日本語や、日本人とのコミュニケーションについて学ぶ日本語教室を開催しました。教室は仕事終わりの水曜午後7時からオンラインで開催し、7回目は横浜みなとみらいにあるYOKEに集って対面授業を行いました。7企業11名の学習者が参加し、全10回の授業を行いました。ベトナム、中国、ミャンマーなど様々な国籍の方が集い、熱心に学習をしていました。

学習者は、企業や国籍は違っても、同じ教室で一緒に学べる楽しさも感じていたようです。仕事終わりで疲れていても毎回参加する人が多く、高い出席率で最終回を迎えました。毎週の授業は、最初に全員で横浜の地元情報を学びました。知らなかった横浜の情報に驚いたり関心をもって聞いていました。その後は日本語レベルによって2クラスに分かれ、仕事に関連のあるフレーズやマナー、文化などを学びました。「部下と上司のやりとり」を学習者同士が演じるロールプレイなども取り入れて実践的な活動も行いました。

第7回の対面授業ではグループで協力して川柳づくりを行うことで、コミュニケーションを深めることができたため、その後のオンライン授業でも学習者同士で質問しあったり、分からない時には助け合ったりする姿もみられました。



第7回目対面授業の様子

参加者の声

●非常に面白いクラスです。コミュニケーションできるし、仕事に役立つことを学ぶ機会があるし…これからは自信を持って人と会話できるようになります。もっと上手になれるように日々練習しています。

●生活と仕事でコミュニケーションをできるようになりました。日本と仕事のいろいろな事を学びました。大事な知識を知りました。みんなで一緒に学んだのでとても嬉しかったです。外国人にとっても良い教室です。

教室名

今すぐ使える！しごとの日本語教室

講師

富島みえこさん 杉本あつこさん
(株式会社インカレックス 日本語講師)

日時

2022年8月17日～10月19日 (全10回)
毎週水曜日19:00～20:30

場所

オンライン (Zoom)
横浜市国際交流協会会議室 9月28日

対象

横浜市内の企業に勤める外国人従業員

参加者数

11名 (延べ98人)
ベトナム5名、中国2名、ミャンマー2名、
バングラデシュ1名、フィリピン1名



よこはま日本語学習支援センター

Yokohama Nihongo Support Center

<https://yokohama-nihongo.com>

運営：公益財団法人 横浜市国際交流協会 (YOKE)

地域日本語教育に関わる方や関心のある方
日本語学習をしたい方

「知りたい・やってみたい・つながりたい」
をサポートします！



外国人従業員向け日本語教室「今すぐ使える！しごとの日本語教室」(全10回)

オンライン 授業 第1～6回 第8～10回

授業の最初は、全員で楽しく横浜の地元情報を学びます。知らなかった場所や施設、イベントなどを知ることができました。

その後AクラスとBクラスに分かれて、仕事で使う日本語のフレーズや、上司に許可を取る表現方法、日本の会社のマナーなどを、ロールプレイをしながら学びました。学習者同士で助け合ったり、知らないことを質問したり、他の学習者に説明することによって日本語でのコミュニケーション能力が向上していきました。授業の最後には全員一緒に復習や次回の授業内容を確認していきました。

【授業での主な内容】

- ①自己紹介 ②「ウチ」と「ソト」 ③場面にあった挨拶 ④遅刻の連絡
- ⑤メールの悩み ⑥仕事の報告・連絡・相談について ⑦川柳 ⑧謝罪
- ⑨ビジネスマナー ⑩日本の会社でよりよく働くために必要なこと



参加者の声

- ・いろいろな日本の知識を教えて頂きありがとうございました。とても楽しかったです。これからも日本語の勉強を頑張ります。

対面授業 第7回

第7回目の9月28日は唯一の対面授業を行いました。学習者が到着するたびに「OOさん」と名前呼び合う姿があり、6回のオンライン授業でコミュニケーションが深まっていることを確認できる場となりました。

対面授業では川柳をつくりました。話し合いながら一生懸命「5・7・5」の言葉を探して1つの川柳を作り上げ、ホワイトボードに掲示しました。最後に全員に向けて川柳の発表をしました。川柳のテーマは「仕事・会社・日本での生活」ということで、先輩の日本人従業員に気になってもらい、いつも声をかけてもらえるのが嬉しいという内容の川柳など、皆さんの気持ちが表れる内容になりました。



参加者の声

- ・本当にありがとうございました。皆さんはいつも笑顔っていて、面白くて、楽しかったです。

企業の方から

学習した内容について、毎回日本語で報告をしてくれました。「これはどういう意味？」など質問をしても、よく覚えていて答えられるのが素晴らしいと思いました。



よこはま日本語学習支援センター

Yokohama NIHONGO Support Center

<https://yokohama-nihongo.com>

運営:公益財団法人 横浜国際交流協会(YOKE)

地域日本語教育に関わる方や関心のある方
日本語学習をしたい方

「知りたい・やってみたい・つながりたい」
をサポートします！



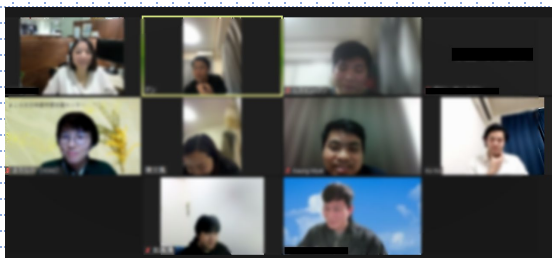
外国人従業員向け日本語教室 第2期「今すぐ使える！しごとの日本語教室」

主催：(公財)横浜市国際交流協会

横浜市内では全国の傾向と同様に、企業等に就業する外国人が増加しています。そこで、市内企業の外国人従業員・内定者を対象に「仕事で使える日本語」「日本企業の慣習や文化」「横浜の生活情報」などを学ぶ日本語教室を開催しました。関係団体にも広報協力をいただき、教室には26名の参加がありました。

職場でよくある場面を例に会話練習を行う際には「急な欠勤の時は、ただ体調不良と言うだけでなく詳しい情報を伝えた方がいい」「どんな情報を伝えるといいか」など、話す内容についても意見交換をしたり、講師からアドバイスをもらったりしながら進めていきました。

第5～10回には、自身の会社で3人の日本人に話を聞くという、インタビューワークに取り組みました。教室では仕事の場で使える丁寧な質問や依頼の仕方を学び、練習した上でインタビューを実施しました。発表会では来場した企業の方々の前で、自身の意見を交えながら堂々と発表する姿がありました。受講者からは「インタビューがきっかけで違う部署の方とも話すことができた」という声もあり、社内での交流のきっかけにもなったようです。企業の方からは「皆さんの努力に敬意を表したい」「教室に最後まで参加したことが自信になり仕事にも前向きに取り組んでいる」という声をいただきました。



就業後の時間帯に集まり、オンライン
中心で日本語を学びました。

インタビューワーク

この教室では、PBL（Project Based Learning）の手法を取り入れ、日本語の学びが教室の中だけでなく、職場でも生かされることを目指しています。具体的な取り組みとして、参加者が自分で決めたテーマで社内の日本人にインタビューを実施し、最終回にその結果を発表しました。

テーマ

第2期 今すぐ使える！しごとの日本語教室

講師

Aクラス 中村 いづる さん
Bクラス 田中 久美 さん
(内定ブリッジ株式会社 日本語講師)

日時

毎週水曜日19：00～20：30
12月14日～2月22日（全10回）

場所

オンライン（Zoom）
対面（YOKE会議室 1月18日、2月22日）

対象

横浜市内の企業に勤める外国人従業員・内定者

参加
者数

26人（のべ193人）
ベトナム10、中国6、インド1、スペイン1、
スリランカ1、台湾1



よこはま日本語学習支援センター

Yokohama Nihongo Support Center

<https://yokohama-nihongo.com>

運営：公益財団法人 横浜市国際交流協会 (YOKE)

地域日本語教育に関わる方や関心のある方
日本語学習をしたい方

「知りたい・やってみたい・つながりたい」
をサポートします！



外国人従業員向け日本語教室 第2期「今すぐ使える！しごとの日本語教室」

学習 内容

しごとで使える日本語

ある回では、報告書、見積書、議事録など社内によく使われる言葉やメールの書き方などを取り上げ、学びました。「お忙しいところ」の「ところ」は何？など普段感じている疑問を皆で共有し、話し合いながら学んでいきました。

日本企業の慣習や文化

「休みの許可をとる」際はどのぐらい前に伝える必要があるのか、長期休暇の場合はどうか、丁寧な話し方で伝えた方がよい等、皆で意見を出し合った後に、講師やスタッフから日本企業の一般的な慣習について話しました。

横浜の生活情報

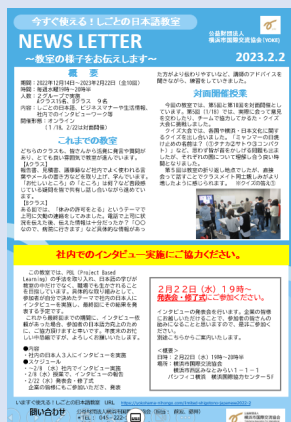
皆で言葉の意味を確認しながら、横浜のニュースを読みました。「『レシ活』が再開」の記事ではお得な生活情報を、「災害時に役立つ6品」では、身を守るために大切な情報を読んでいきました。

<対面開催>

第5回、最終回は対面開催を実施し、直接会って学習・交流することができました。最終回は、企業の方も参加しました。

<ニュースレターの発行>

企業の方向けに2回ニュースレターを発行し、教室の様子をお伝えしました。



企業の方向けニュースレター

対面開催授業

今回の教室では、第5回と第10回を対面開催としています。第5回(1/18)では、実際に会って意見を交わしたり、チームで協力してかるた・クイズ大会に挑戦しました。クイズ大会では、各国や横浜・日本文化に関するクイズを出しました。「ミャンマーの伝統的な止めの名前は何？(①タナカ②サトウ③コンバクト)」など、思わず皆が首をかしげる問題も出ましたが、それぞれの国について理解し合う良い時間となりました。第5回は教室の折り返し地点でしたが、直接会って話すことでクラスメイト同士親しみがより増したように感じられます。 ※クイズの答え①



ニュースレター(2023年2月2日発行)より

受講者より

- ・仕事で役立つフレーズを復習できました。
- ・敬語とインタビューのやり方を学びました。
- ・インタビューがあるきっかけで、いろいろのいけん・たいけんを べんきょうになりました。

企業より

- ・テーマの選定からインタビューを通じて気づき、そして自分の考えもまとめられて素晴らしかったです。
- ・途中で挫折そうにもなりましたが最後まで全うできたことが自信になり、仕事全般により前向きに取り組んでいるのを感じます。



よこはま日本語学習支援センター
Yokohama NIHONGO Support Center

<https://yokohama-nihongo.com>

運営:公益財団法人 横浜市国際交流協会(YOKE)

地域日本語教育に関わる方や関心のある方
日本語学習をしたい方

「知りたい・やってみたい・つながりたい」
をサポートします！

